記者発表資料

令和８年１０月２２日
三陸国道事務所
岩手県
宮古市

宮古盛岡横断道路　『箱石達曽部道路』工事に本格着手

～ 12月6日(日)に起工式を行います ～

箱石達曽部道路は、高規格道路　宮古盛岡横断道路の一部を構成する延長９．７㎞の自動車専用道路で、令和３年度に事業に着手しました。

これまで、調査設計、用地取得等を進めてきたところですが、このたび工事に本格着手する運びとなりました。

つきましては、工事の安全と早期完成を祈念し、起工式を執り行うこととしましたのでお知らせします。

■起工式

日　時 ： 令和８年１２月６日（日）　１１時００分～

場　所 ： 宮古市箱石第４地割 地内
（別紙：式典会場図 参照）

主　催 ： 岩手県、宮古市、国土交通省東北地方整備局

次　第 ： 挨拶、来賓祝辞、鍬入れ　等

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北建設専門紙記者会》

問い合わせ先
国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所　ＴＥＬ　0193-62-1711（代表）
副　所　長　深渡　義哲　（内線 204）

宮古盛岡横断道路　箱石達曽部道路　位置図



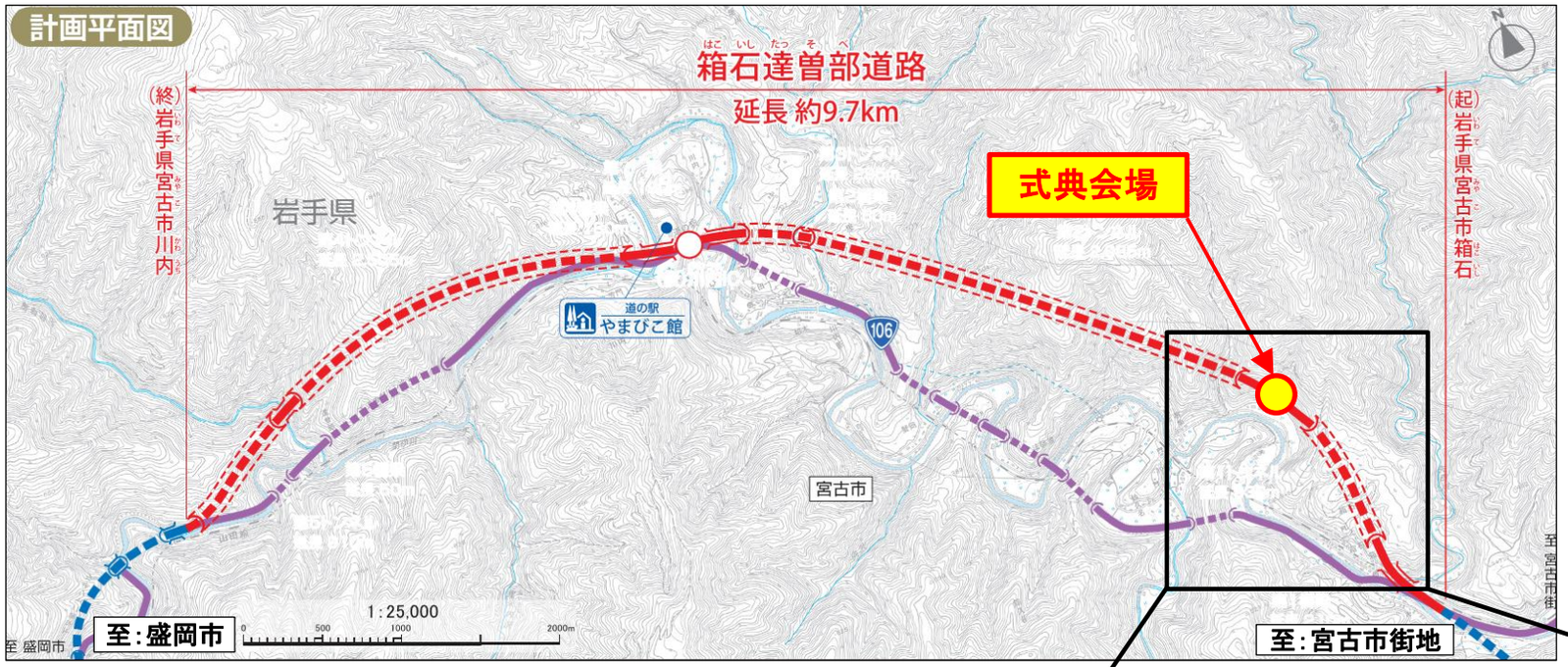
■起工式
1）日時：令和８年１２月６日（日）１１時００分～
2）場所：宮古市箱石第４地割 地内
3）主催：岩手県、宮古市、国土交通省東北地方整備局
4）次第：挨拶、来賓祝辞、鍬入れ 等

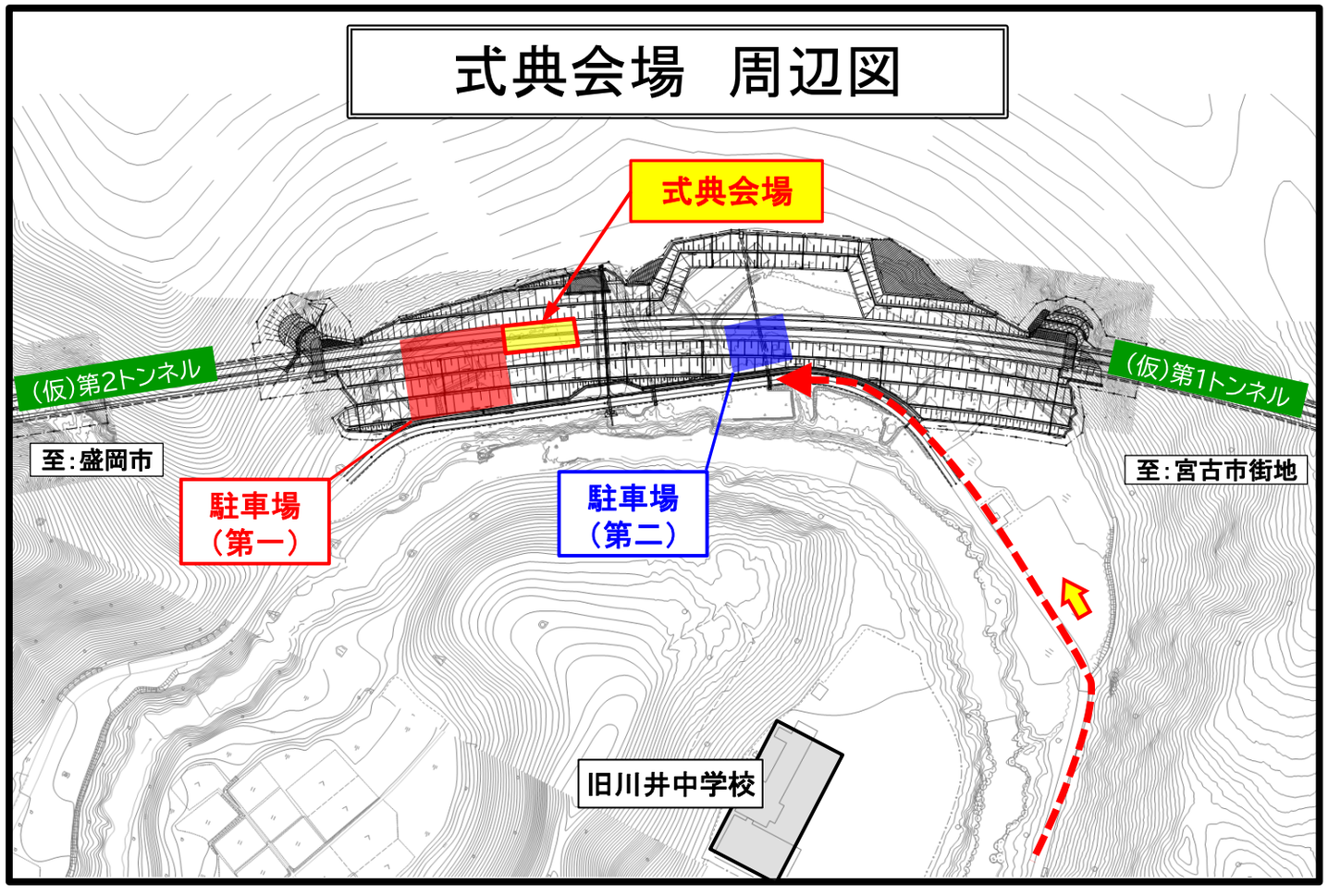
※お車でお越しの報道関係の方は、「別紙：式典会場図」を参照下さい。

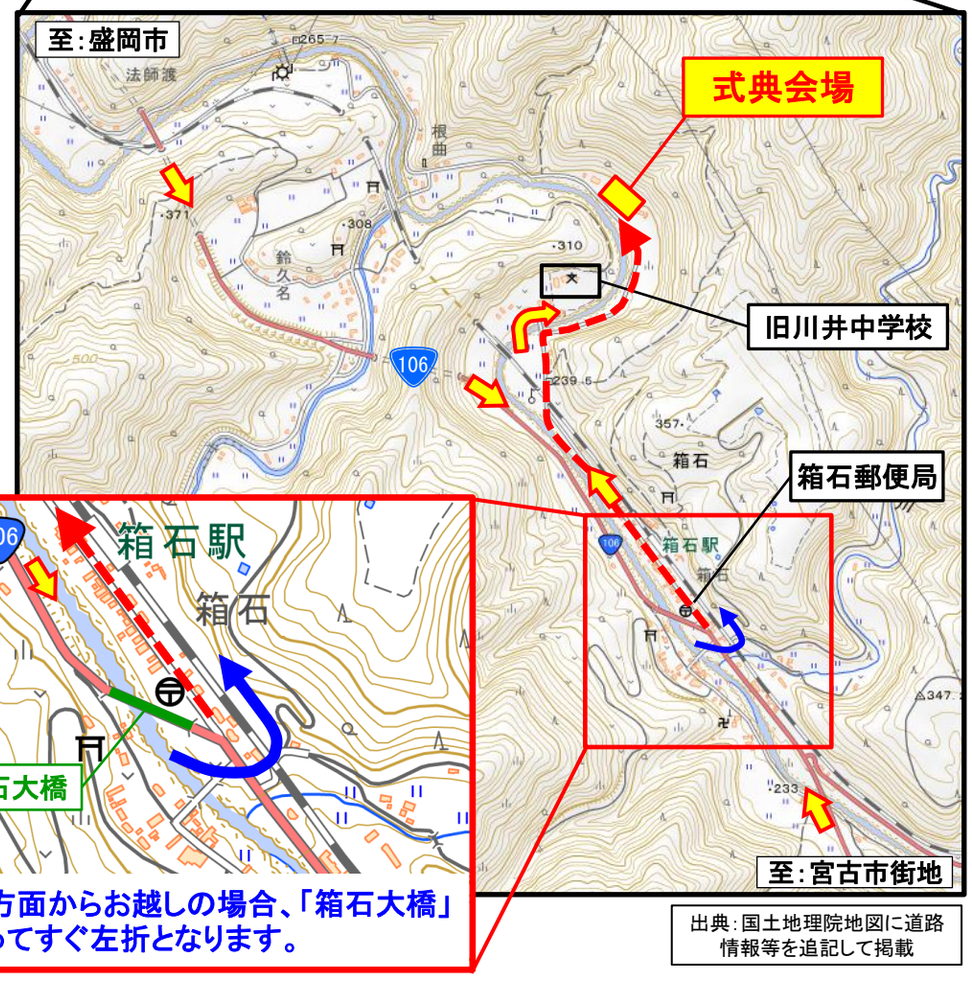
※報道関係の方は、別添「送信票」による事前申し込みをお願いします。

起工式会場案内図【岩手県宮古市箱石第4地割 地内】

別　紙







出典：国土地理院地図に道路情報等を追記して掲載

別　添

FAX送信票

【報道関係者の入場について】

台数把握のため、下記にご記入のうえ、１１月１３日（金）までに本状をFAXで提出願います。

別途、駐車券をお送りいたします。

三陸国道事務所　　総務課　　行き

FAX　0193－71－1734

〇駐車台数　　台

・住　　所　　〒

・会　社　名

・部　署　名

・取材者氏名

・電 話 番 号

※こちらから連絡させていただく場合があります。連絡がとれる電話番号をご記入ください。

※式典前に式典内容等の説明をさせていただきますので、10時20分までにお集まり頂きますようお願いいたします。

信頼性の高い道路ネットワークを確保

◆国道106号は急峻な地形であり土砂災害警戒区域が複数存在し、災害が発生するリスクが高い。
◆平成28年台風10号では道路被災に伴う全面通行止めが発生し、盛岡～宮古間では釜石を経由する広域迂回が発生。
◆箱石達曽部道路の整備により、災害時の道路寸断等による広域迂回を解消し、信頼性の高い道路ネットワークを確保。

▼箱石達曽部道路並行現道における通行止め発生状況



出典:「ハザードマップポータルサイト」をもとに路線等を追記して作成

凡　例

- ×:全面通行止 H28台風第10号 道路被災箇所
- ×:災害による通行止め発生箇所 (H25,H28)

＜土砂災害警戒区域にかかる箇所＞

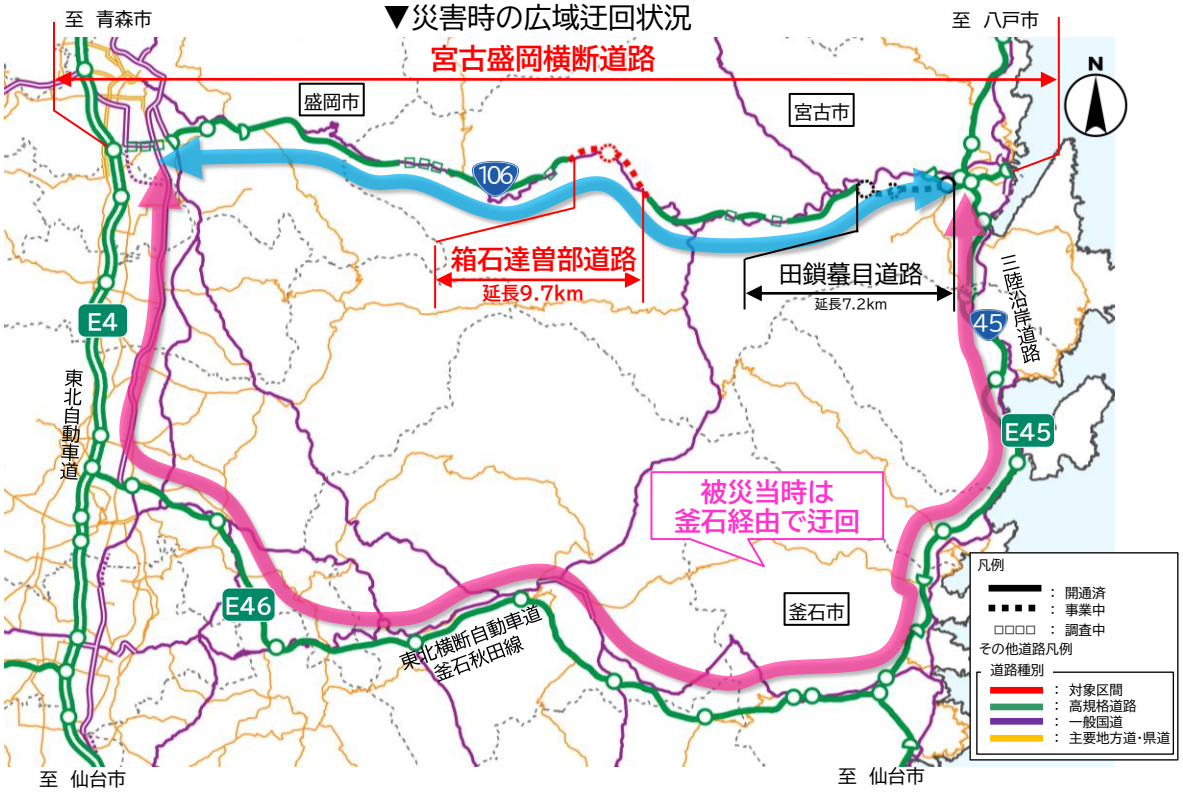
- ▲:急傾斜地の崩壊
- ▲:土石流

※国道106号(箱石達曽部道路並行区間)にかかる箇所のみ表示

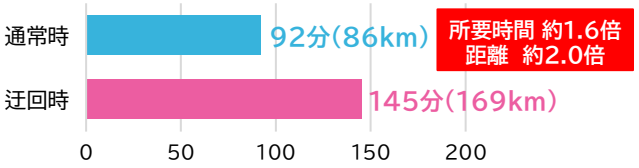
▼H28年の台風10号による被災状況



▼災害時の広域迂回状況



▼広域迂回時の所要時間



資料:令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間非混雑時旅行速度を基に算出
※宮古市役所～盛岡市役所間で算出
※迂回時は釜石自動車道～東北自動車道を利用

《国道106号利用企業の声》

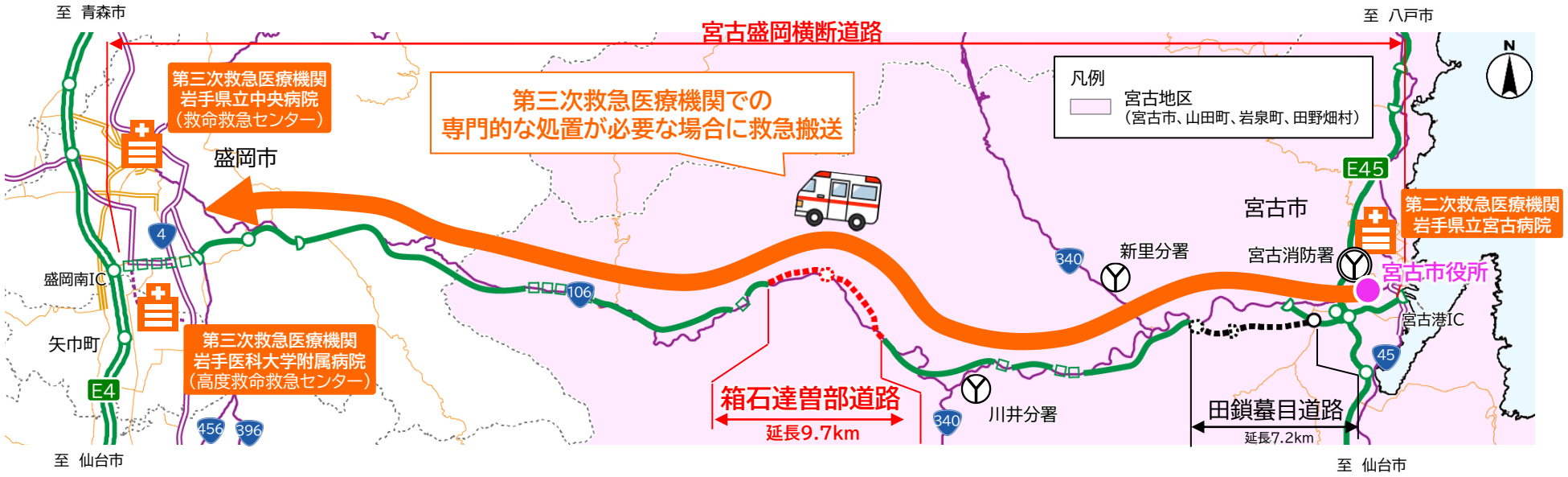
・内陸から宮古方面へは通常国道106号を利用しているが、通行規制当時は釜石経由での移動となった。(H29.2 ヒアリング結果)

・所要時間は短くなっているが、現道区間で速度が極端に遅くなる。現道区間も高規格化されると良い。(R8.8 ヒアリング結果)

救急医療活動を支援

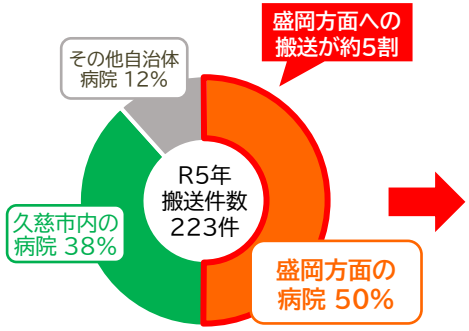
◆宮古地区では、管外への救急搬送のうち約5割が盛岡方面への搬送であり、第三次救急医療施設への搬送が約9割。
◆専門的な処置が必要な場合に、宮古盛岡横断道路を利用し盛岡方面へ救急搬送されるため、搬送時間の短縮が求められる。
◆箱石達曽部道路の整備により、宮古地区から盛岡方面への救急搬送時間が短縮され、救急医療活動を支援。

▼宮古市～岩手医科大学附属病院の主な搬送ルート

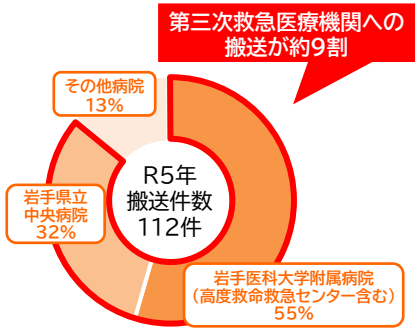


▼宮古地区広域行政組合消防本部の管外搬送実績

【管外搬送実績】

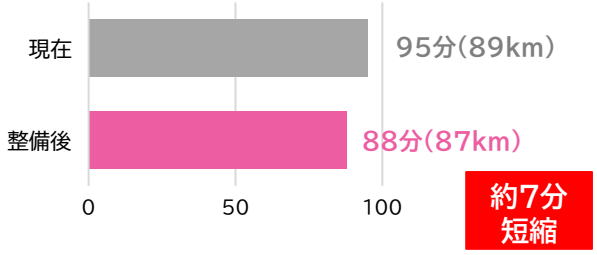


【うち盛岡方面搬送実績】



資料：宮古地区広域行政組合 消防本部
※ドクターヘリによる搬送を除く

▼箱石達曽部道路、田鎖蟇目道路整備前後の救急搬送時間の変化



資料：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間非混雑時旅行速度を基に算出
※宮古市役所～岩手医科大学附属病院間で算出
※開通後の田鎖蟇目道路及び箱石達曽部道路の速度は80km/hに設定

《救急隊員の声》

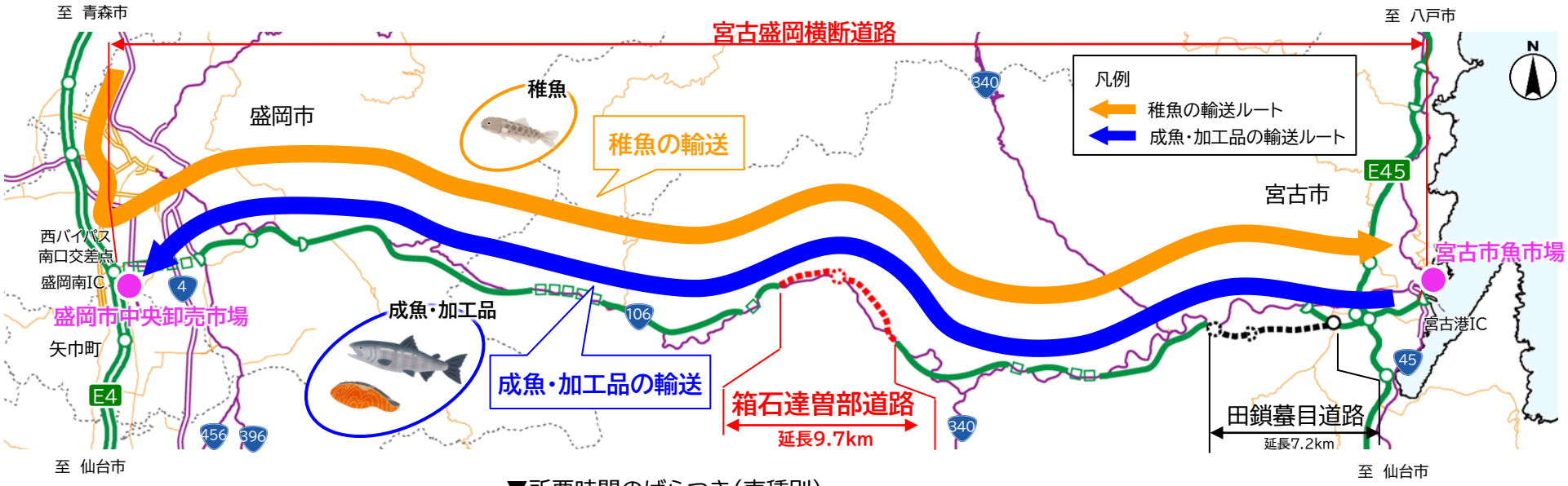
・宮古盛岡横断道路の開通により、搬送時間が短縮し、早期に治療が開始できる。また、カーブ区間の走行が減ったことで、搬送患者の負担軽減に繋がっている。
（R4.10 ヒアリング結果）

・現道を利用した搬送ではカーブ等があり走行性が悪く、搬送時間も長くなるため傷病者への負担になる。
（R5.11 ヒアリング結果）

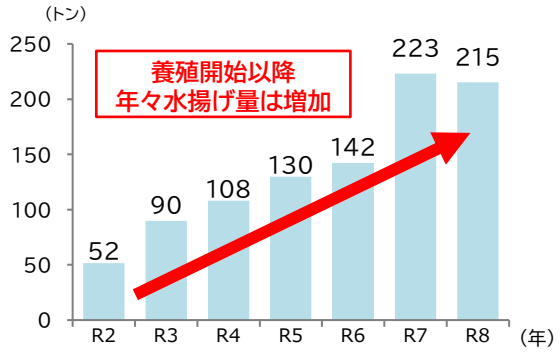
水産物・水産加工品の安定供給を支援

◆宮古地区は県内屈指の水産物・水産加工品の主要拠点であり、令和2年から開始した養殖サーモンの水揚げ量は年々増加。
◆稚魚や成魚・加工品の輸送において宮古盛岡横断道路を利用しているが、大型車は約11分のばらつきが生じ定時性が低い。
◆箱石達曽部道路の整備により、内陸部と沿岸部を結ぶ道路ネットワークが強化され、水産物・水産加工品の安定供給を支援。

▼養殖サーモンの稚魚、成魚・加工品の主な輸送ルート

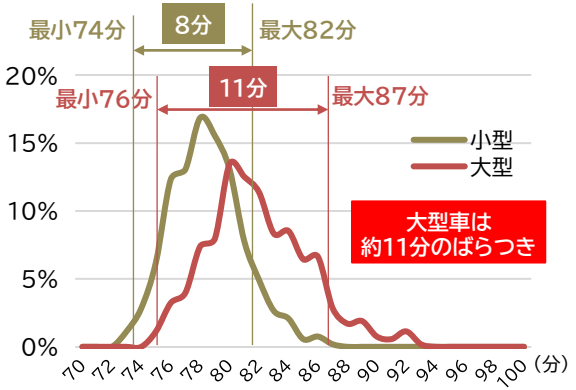


▼宮古市の養殖サーモン水揚量



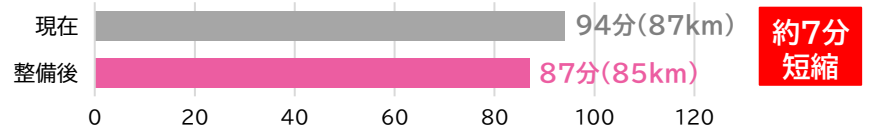
出典:R8.8 宮古市魚市場ヒアリング結果

▼所要時間のばらつき(車種別)



資料:ETC2.0データ(R7.10平日,昼間12h) ※最小・最大値は5%、95%タイル値
※宮古港IC～西バイパス南口交差点間で算出

▼箱石達曽部道路、田鎖蟇目道路開通前後の輸送時間の変化



資料:令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼間非混雑時旅行速度を基に算出
※宮古市魚市場～盛岡市中央卸売市場間で算出 ※開通後の田鎖蟇目道路及び箱石達曽部道路の速度は80km/hに設定

《漁業協同組合の声》

・これまでの開通で、輸送時間の短縮、事故減少、ドライバーの負担軽減に繋がっている。 (R7.10 ヒアリング結果)

・宮古市魚市場から盛岡中央卸売市場への輸送を行っているため、さらに時間短縮になれば大変ありがたい。 (R8.9 ヒアリング結果)